

日本工学院専門学校		開講年度	2020年度(令和2年度)		科目名	キャリアデザイン5	
科目基礎情報							
開設学科	ITスペシャリスト科		コース名	システム専攻		開設期	前期
対象年次	3年次		科目区分	必修		時間数	60時間
単位数	4単位		開講時間			授業形態	講義
教科書/教材	キャリアサポートブック。就活ドリル。関連する資料等についてはそれぞれの実習内意で紹介する。□						
担当教員情報							
担当教員	中西真也・兒玉奉恵			実務経験の有無・職種	無		
学習目的							
本校卒業後の進路をしっかりと考えているだろうか。四年間の学生生活の半分が終わり、卒業後の進路をしっかりと考え始めなければならない時期になっている。この科目では卒業後の進路をみつけるための取り組みと就職試験に向けた準備を行い、本番に備える。日々変化する日本や世界の経済、政治、テクノロジーなどの分野にもアンテナを張り、視野を広げていく。就職活動にはだいぶ時間があるが自分自身の将来をしっかりと考えられるように準備をしていく。							
到達目標							
まず、自己分析や業界研究などを通じて自分の現状を把握し、自分の進路をしっかりと考えられるようになる。それらを基に自分の進路を大まかに決められる。希望する進路に進むために必要なもの、習得しなければならない知識や技能は何かを見極められる。その必要な知識や技能を習得するには何をすべきかを認識でき、すべきことを実行に移せるようになる。社会人として必要な一般常識、業界常識を身につけられるようになる。							
教育方法等							
授業概要	就活ドリルなどを利用して一般常識や適性に関わる問題を毎時間ごとに解き、未習得な部分を確認。キャリアサポートブックを使い、自分の進路を考える。就職活動の流れを把握する。業界地図やインターネットの情報を利用し、業界、日本や世界の経済状況を確認する。内容によって各自のノートPCを使うことがある。その際には指示する。						
注意点	授業に必要なスマートホン、ペットボトルはカバンにしまうこと。私語を慎み、積極的に実習に参加すること。出席は授業時間開始時にのみ取る。遅刻は授業開始10分までを認め、それ以降は欠席となる。授業時間の3/4以上出席しない者は定期試験を受験できない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	50%	定期試験期間中に試験を実施し、授業内容全般の理解度を評価する				
	小テスト	40%	一般常識等の試験を授業時間内でテストを実施し、理解度を評価する				
	レポート	0%					
	成果発表 (口頭・実技)	0%					
	平常点	10%	授業参加度、授業態度を評価する				
授業計画(1回～15回) 1回(4)時間 ※45分を1時間とする							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	自己分析(1)			過去の自分を分析し、それを文章にまとめられる			
2回	自己分析(2)			現在の樹文を分析し、それを文章にまとめられる			
3回	自己分析(3)			将来の自分を考え、それを文章にまとめられる			
4回	業界・企業研究(1)			どんな業種や職種があるかを調べ、それをまとめられる			
5回	業界・企業研究(2)			会社の規模や仕組みを調べ、それをまとめられる			
6回	業界・企業研究(3)			希望する業界にどんな会社あるかを調べ、それをまとめられる			
7回	一般常識対策(1)			就職試験に出題される内容の問題を解き、不得意な内容を確認し、それを学習する			
8回	一般常識対策(2)			就職試験に出題される内容の問題を解き、不得意な内容を確認し、それを学習する			
9回	一般常識対策(3)			就職試験に出題される内容の問題を解き、不得意な内容を確認し、それを学習する			
10回	適性試験対策(1)			適性試験に出題される内容の問題を解き、不得意な内容を確認し、それを学習する			
11回	適性試験対策(2)			適性試験に出題される内容の問題を解き、不得意な内容を確認し、それを学習する			
12回	適性試験対策(3)			適性試験に出題される内容の問題を解き、不得意な内容を確認し、それを学習する			
13回	履歴書作成(1)			履歴書作成に必要な情報を集め、履歴書作成の準備ができる			
14回	履歴書作成(2)			履歴書作成に取り組み、おおまかにまとめられる			
15回	履歴書作成(3)			履歴書作成に取り組み、提出できる履歴書を作れる			